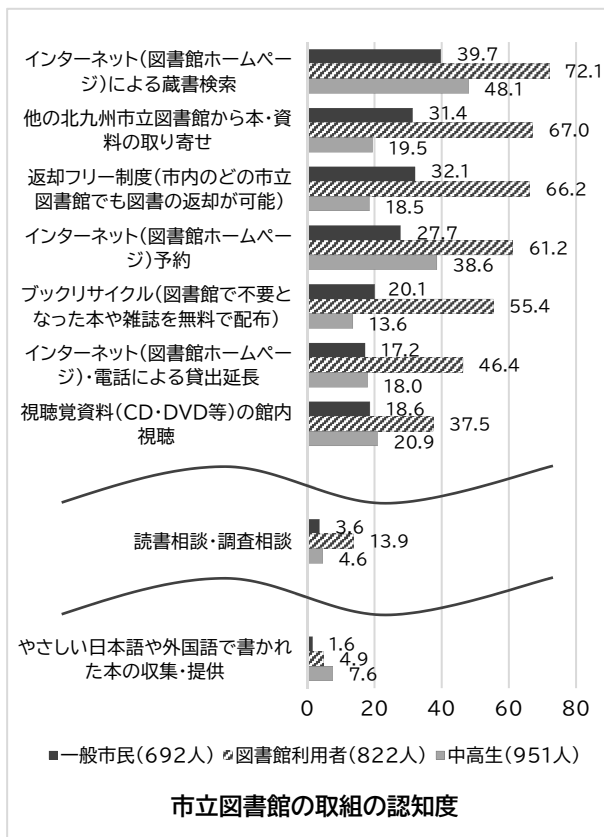


■ 図書館サービスの認知度

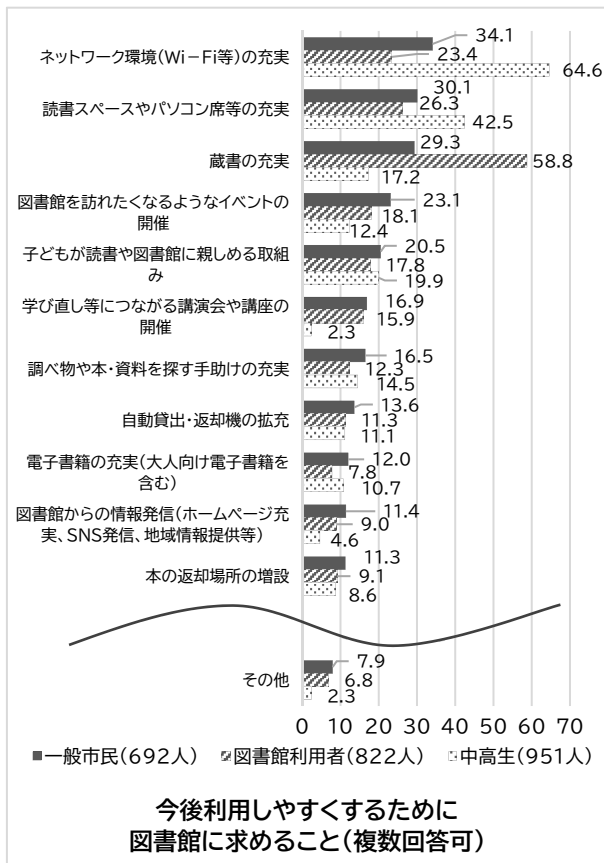


[図書館利用者]の間で最も認知度が高かった図書館サービスは、「インターネットによる蔵書検索」で、70%程度。

[一般市民]の間では、どの図書館サービスも認知度が50%以下。

[その他]「読書相談・調査相談」(レファレンスサービス)の認知度は、[一般市民]や[中高生]では5%以下で、[図書館利用者]の間でも15%程度。

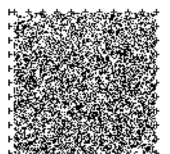
■ 図書館に求める取組等



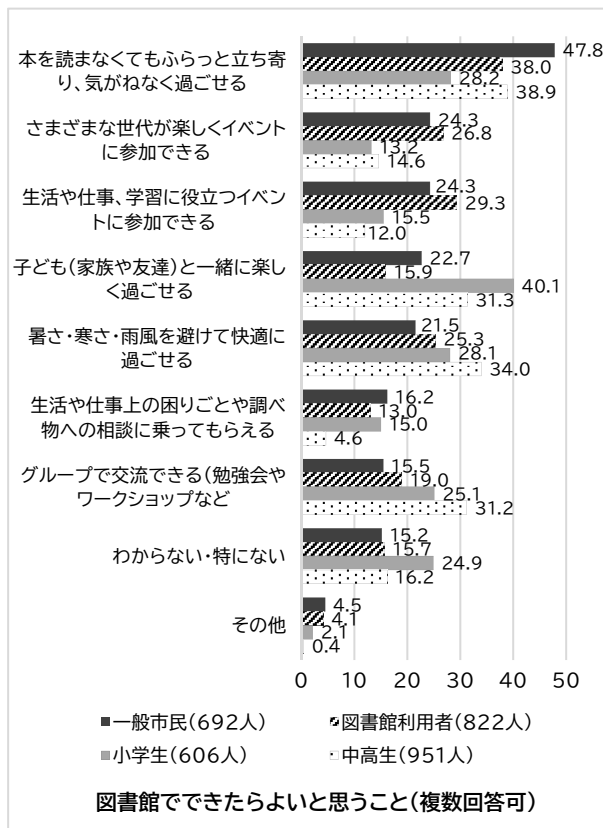
[一般市民]は、今後利用しやすくするための取組として、約3分(ぶん)の1の人がネットワーク環境(Wi-Fi等)の充実を求めている。

[図書館利用者]では、蔵書の充実を求める人が最も多い。

[中高生]は、60%以上の人がネットワーク環境(Wi-Fi等)の充実を求めている。



■ 図書館でできたらよいと思うこと



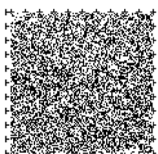
[一般市民]と[図書館利用者]、[中高生]は、本を読む・借りる以外に図書館でできたらよいこととして、本を読まなくてもふらっと立ち寄り、気がねなく過ごせるとよいと考えている。

[小学生]は、本を読む・借りる以外に、家族や友達と一緒に楽しく過ごせるとよいと考えている。

(2) 利用者アンケート

図書館では、利用者を対象に令和元年度を除く毎年度、アンケート調査を実施し、図書館サービスの満足度を調査しています。

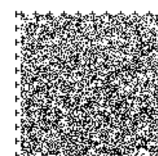
図書館の各サービスに対し、図書館利用者が「非常に満足」又は「満足」とした回答の割合の合計は、令和5年度時点で、「職員の応対」及び「職員の知識や説明」が98%以上、「調べものの支援」及び「展示・行事の内容」、「探しやすい配架」では93%前後となっています。「充実した蔵書」については、90%となっており、図書館利用者の満足度は高いといえます。



5 北九州市立図書館協議会

北九州市立図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、図書館の行う図書館奉仕について、館長に対して意見を述べる機関で、教育委員会が任命した委員により構成されています。

区分	氏名	所属団体役職名	備考
学校教育 関係者	本田 壽志	北九州市学校図書館協議会会長	
	上満 佳子	北九州市学校図書館協議会副会長	
	谷川 陽一	福岡県公立高等学校長協会北九州地区前会長	～R6 .4 .25
	石川 一仁	福岡県公立高等学校長協会北九州地区会長	R6 .4 .26 ～
	麻生 恭子	(一社)北九州市私立幼稚園連盟前理事	～R6 .4 .25
	有田 裕子	(一社)北九州市私立幼稚園連盟理事	R6 .4 .26 ～
家庭教育 の向上に 資する活 動を行う 者	福田 百合加	(一社)北九州市PTA協議会相談役	副会長
	北野 久美	(一社)北九州市保育所連盟副会長	～R6 .4 .25
	伊賀良 昌宏	(一社)北九州市保育所連盟副会長	R6 .4 .26 ～
	末吉 智久美	(一社)北九州青年会議所理事	
	山中 啓稔	公募委員	
社会教育 関係者	宮本 和代	北九州市社会教育委員	
	吉松 喜美子	北九州市婦人団体協議会監査	
	林 芳江	北九州市障害福祉団体連絡協議会会長	
	阿部 和代	北九州児童文化連盟副会長	～R6 .6.27
	八木 真恵	北九州児童文化連盟理事	R6 .6.28 ～
学識経験 者	中尾 泰士	北九州市立大学前 図書館長	会長
	山口 秋義	九州国際大学図書館長	
	鈴木 研	公募委員	



6 策定の経過

事前の市民意識調査、利用者アンケート、市民意見公募(パブリックコメント)手続きなどにより、ひろく市民の意見を取り入れながら本計画を策定しました。

令和5年 5月	北九州市立図書館協議会へ諮問 これからの図書館のあり方について(諮問)
8月	市民意識調査 「これからの図書館のあり方」に関するアンケート
令和6年 5月	北九州市立図書館協議会による答申 これからの図書館のあり方について(答申)
6月	策定について報告 市議会常任委員会にて、基本計画の策定について報告しました。
7月	素案の提示 ○北九州市立図書館協議会(7月) ○北九州市教育委員会会議(9月) ○市議会常任委員会(10月) ○市民意見公募(10月9日~11月5日)
12月	最終案の公表 市議会常任委員会にて、基本計画の策定について報告
令和7年 3月	策定

7 参考文献

- *図書館情報学基礎資料第4版 今まど子・小山憲司・編 樹村房 2022年3月31日
- *図書館情報学辞典 日本図書館情報学会・編 丸善出版 2023年7月30日
- *図書館ハンドブック第6版補訂2版 日本図書館協会図書館ハンドブック編集委員会・編 日本図書館協会 2017年9月20日

